

特許出願公告及特許拔萃

特許出願公告拔萃

結晶堅緻なる炭化珪素製造法 (8年特許公告第3012號、公告8—7—17、東京市、三井鑛山株式會社) 結晶極めて堅緻なる炭化珪素を容易に經濟的に製造せんとする目的を以て公知の炭化珪素製造用電氣抵抗爐内の熱源炭素抵抗の周圍に珪素粉末と硬き炭素粉末に少量の食鹽を混じたるものとを適當の割合に混合したるものを装入し其外周は相當耐火度高き珪砂に若干の炭化珪素屑粉更に鋸屑を相當多量混合しよく攪拌したる保熱材を以て包圍せしめて炭化珪素を燒成する炭化珪素製造法。

鑄造耐火性物 (8年特許公告第3073號、公告8—7—19、米國、コルニング、グラス、ウオークス) 内部に孔隙を生ずることなき耐久力なる此種耐火性物を得んとする目的を以て内部に主體部分と同一組成なることを可とする耐火性材料より成る補強用心體を包藏せることを特徴とする熔融硝子と接觸する所に使用するアンモニーリングを行ひて得たる鑄造耐火性物。

鑄造耐火性物の製法 (8年特許公告第3074號、公告8—7—19、米國、コルニング、グラス、ウオークス) 熱傳導度は粘土質耐火性物と同様に低く然して腐蝕作用に對しては大なる抵抗力を有する耐火性物を簡単に製造し得べからしめんとする目的を以て誘導筒を備へたる鑄型の内部に燒成せざる耐火性資料より成る裏裝部材を置き其表面積の大部分をして鑄型の凹窩の周面を形成せしむべくなし次いで該凹窩に熔融耐火性資料を注入し該資料を其熱に依り上記裏裝部材と結合して凝固せしむることを特徴とする鑄造耐火性物の製法。附記1. 燒成せざる耐火性裏裝部材を鑄型の内部に設置することに依り上記部材の一側面を以て鑄型部内の底面を被覆し反對側面を以て鑄型内部に形成せらるる凹窩の周縁を形成せしめ、然る後該凹窩内に熔融耐火性資料を注入する前記記載の鑄造耐火性物の製法。2. 椀狀の裏裝部材を鑄型外に設定し此等兩者間に杯狀間隙を形成せしめ該間隙に熔融耐火性資料を注入する前記記載の鑄造耐火性物の製法。附記3, 4, 5, 6, 7, 8 省略す。

耐火性物の鑄造法 (8年特許公告第3075號、公告8—7—19、米國、コルニング、グラス、ウオークス) 製品の鑄造に際し製品に於ける底部の端縁が底面の中央部に比し速かに凝固することに基因して生ずる龜裂の發生を防止せんとする目的を以て熔融耐火性資料を鑄型に注入するに當り該資料中を潜りて鑄型の底部に沈下する如き比重を有し稍大なる耐火性物の塊片を熔融資料と共に鑄型に投入することを特徴とする耐火性物の鑄造法。附記1. 耐火性物の塊片を少くとも製品に於ける底部の中央個所に層を形成するに足る分量たる鑄型中に投入する前記記載の耐火性物の鑄造法。2. 鑄型の少くとも一部を熔融耐火性資料にて充填したる後塊片を鑄型中に送入する前記記載の耐火物の鑄造法。

銅鑄煉瓦體の製造法 (8年特許公告第3077號、公告8—7—19、高知縣、吉本助作) 廢物に屬する銅鑄熔滓を利用し堅牢にして且優美なる金屬光澤を有する鑄造煉瓦體を得んとする目的を以て銅鑄熔滓を内部に鐵筋を埋藏して煉瓦體に形成し其の凝固前に之が表面に硫黃、鐵粉、雲母及糖の混合粉末を撒布附着せしめ藁灰中に埋没して緩冷することを特徴する鑄造煉瓦體の製造法。

耐鹽酸合金鐵 (8年特許公告第3078號、公告8—7—19、東京市、渡邊三郎) 鹽酸に對し特に耐蝕性大にして且つ鍛延、壓延、熔接機械加工容易なる合金鐵を得んとする目的を以て、 $W0.1\sim5.0\%$

又は $Zr0.1\sim1.0\%$ 又は $Mn0.1\sim2.0\%$ の内一種或は二種以上を含有したるものに $Ni20.0\sim50.0\%$ 、 $Mo0.5\sim7.0\%$ を含有し殘部鐵及其不純物として若干の Si 、 P 、 S 等を含有する合金鐵。

鉛又は硬鉛中の銅及錫を除去する方法 (8年特許公告第3201號、公告8—7—23、東京市、古河電氣工業株式會社) 鉛中の銅及錫を殆んど完全に除去すると共に Pb の損失を極力少くならしめんとする目的を以て Pb 又は硬鉛と熔融し之に苛性アルカリ及硫化アルカリと硫黃、硫化鉛、硫化アンチモン等の一種若くは二種以上より成る混合熔融物を接觸作用せしむることを特徴とする Pb 又は硬鉛中の Cu 及 Sn を除去する方法。附記1. Pb 又は硬鉛を熔融し其表面を苛性アルカリと硫化アルカリとの混合熔融物若くは之に S を添加溶解せしめたるものを以て被ひ然る後 S を熔融鉛中に挿入作用せしめ硫化銅又は硬化錫と共に生ずる硫化鉛硫化アンチモン等が混合熔融物中に溶解するに隨ひ直に熔融鉛に接觸作用せしめて其中の Cu 又は Sn を除去することを特徴とする前記記載の Pb 又は硬鉛中より Cu 及 Sn を除去する方法。

耐酸及耐海水性銅合金 (8年特許公告第3212號、公告8—7—28、大阪市、住友伸銅管株式會社) 原特許銅合金より一般耐蝕性に耐酸性著しく大に耐海水性も亦秀いて鑄造性良好にして可鍛性に富み強度靱性共に大なるものを經濟的に得んとする目的を以て $Si1.00\sim10.00\%$ 、 $Sn5.00\%$ 以下 [特に $0.50\sim3.00\%$] Ag 及 $Cd1$ 一種又は二種 $0.01\sim1.00\%$ 、 $Al0.10\sim10.00\%$ 、 Cu 殘部及夫れ等の不純物を含有する耐酸耐海水性銅合金。

白金及ロチウム精製法 (8年特許公告第3245號、公告8—7—31、東京市、加藤興五郎外一名) 此等金屬と共存して其の分離の困難なる他の白金屬元素其他と分離して精製を行ふ目的を以て Pt 及び Rh の一又は兩者は鹽酸又は硫酸を含む酸性溶液より Ag 又は Hg にて還元することを特徴とする Pt 及び Rh の精製法。

電弧銲接機の自働安全開閉裝置 (8年特許公告第3249號、公告8—7—31、大阪市、大阪電氣株式會社) 銲接電流の變動により影響を受けること少なき確實なる自働安全開閉裝置を得んとする目的を變壓器の二次側を銲接回路となす交流電弧銲接機に於て二次低電壓回路の開路により之れに直列に挿入せる電磁開閉器線輪とを勵磁せしめて前記低電壓回路と二次主回路とを切替へ同時に該繼電器により一次側電壓を以て電磁開閉器の他の線輪を勵磁し主回路用接觸子の接合を保持すべくしたる電弧銲接機の自働安全開閉裝置。

アルミニウムの腐蝕法 (8年特許公告第3251號、公告8—7—31、東京市、西澤勇志智) 常用の金屬腐蝕劑にては面上不要部の腐蝕を免かれ能はざるのみならず腐蝕部部の傍側が侵蝕さるる爲め文様の不齊と加工の困難とを見たりしを此法に由つて排除せんとする目的を以て Al 若くは此れを主成分とするものの面上にアマルガムを以て文字樣を現はし、此れを有機性酸化劑時に其補助劑とし酒精の如きを加へたるもの又は其有機性溶液中に漬けて腐蝕する方法。

特種合金鋼の銲接に使用すべき電弧銲接棒 (8年特許公告第3272號、公告8—8—2、東京市、三菱造船株式會社) Mo 、 Cr 、 Co の各々を所望割合に含有する銲着金屬を銲接すべき特種合金鋼に容易に且良好に接合せしめ得べき銲接棒を得る目的を以て鐵棒、炭素鋼棒若くは Mo 、 Cr 、 Co の一又は夫れ以上を含む合金鋼棒の周圍に Mo 、 Fe クロム鐵、コバルト鐵の一又は夫れ以上を電解鐵と共に含有せしめたる被覆劑を塗着して成る Mo 、 Cr 、 Co の一又は夫れ以上を含む特種合金鋼の銲接に使用すべき電弧銲接棒。